



南丹市

保存版

総合防災ハザードマップ

水害・土砂災害



地震



災害への備え
を
忘れずに！

避難の判断！



身の安全を確保！



まず低く！ 頭を守り！ 動かない！

緊急時の連絡先

警察

110

消防・救急

119

関西電力

0771-22-0149

関西電力送配電
コンタクトセンター

0800-777-3081

京都府LPガス協会
南丹船井支部

(各販売業者へ通報)

京都府南丹広域振興局

亀岡総合庁舎

0771-22-0422

園部総合庁舎

0771-62-0360

南丹土木事務所

0771-62-0025

■ 南丹市役所 本庁 68-0001 日吉支所 68-0030
 八木支所 68-0020 美山支所 68-0040
 (八木町内の方) 42-2300

■ 南丹警察署 62-0110
 ■ 園部消防署 本署 62-0119 日吉出張所 74-0119
 八木出張所 42-3119 美山出張所 75-0119

目次

1. 日頃の備え 2
 2. 水害 6

3. 土砂災害 8
 4. 地震 9
 5. 避難所・避難地 11

1. 日頃の備え

ハザードマップの目的

近年自然災害は局地化・激甚化の傾向が見られ、南丹市でも平成25年9月16日の台風18号で園部川が決壊し、園部町横田では地域の3分の1にあたる180軒近くが被害を受けました(写真)。

このハザードマップは、市内で起こりうる災害とその危険性を地図に示したものです。もしものときに少しでも被害を軽減するために、ハザードマップを活用しながら災害時に適切な行動をとれるよう対策を考え、実際にできることから取り組むようにしましょう。



ハザードマップの使い方

① 家の位置を確認しましょう。

あなたの家の場所をマップに書き込みましょう。



② 家の周りの災害の危険性を確認しましょう。

あなたの家は浸水が想定されている区域ですか？
土砂災害の警戒が必要な区域ですか？



③ 避難先を確認しましょう。

最寄りの避難先や次に近い避難先までの距離を確認しましょう。



④ 避難経路を考えてみましょう。

危険な場所や狭い道路を避け、安全な避難経路を確認しましょう。



⑤ 実際に避難先まで歩いてみましょう。

地図で選択した避難経路が安全かどうか、その他の避難経路についても確認しましょう。



⑥ 災害や避難について、話し合ってみましょう。

あなたの家だけでなく、家族の職場やよく行く場所などについても避難先や危険性を確認しましょう。



ハザードマップはあくまでも特定の条件をもとにシミュレーションしたものであり、雨の降り方や土地の状態によっては、地図に示された区域外でも災害が発生することがありますので、十分に注意してください。

防災情報の入手経路

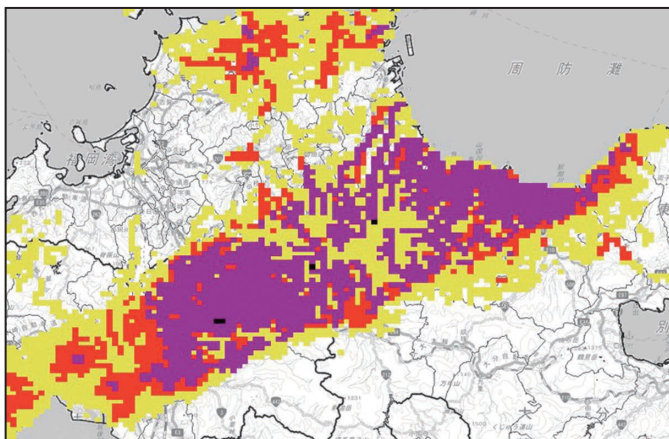
災害時に適切な避難行動をとるには、正確な情報の収集が欠かせません。しかし、災害時はどの伝達手段が被災して使用できなくなるかわかりません。

災害時の情報伝達手段は複数存在するということを知り、いざというときに必要な情報を適切に収集できるようにしましょう。

各情報源から入手できる情報		気	川	土	避	ダ
テレビ ラジオ	気川 土避 テレビ KCN なんたん…11チャンネル NHK 京都総合…1チャンネル NHK E テレ…2チャンネル K B S 京 都…5チャンネル ※dボタンを押すと 情報を確認できます。					FM ラジオ NHK FM…82.8MHz FM 京都…89.4MHz
メール (携帯電話など)	気川 土避 登録 南丹市メール配信サービス 必要 info.nantan-city@raiden.ktaiwork.jp					【登録方法】 左の二次元コードを読み取り、空メールを送信し、登録してください。
	気川 土避 登録 携帯電話事業者 市内に滞在している人の携帯電話に 不要 緊急速報メール 自動的に情報が配信されます。					
インターネット	気川 土避 南丹市ホームページ https://www.city.nantan.kyoto.jp/www/					気川 土避 きょうと危機管理WEB https://www.bousai.pref.kyoto.lg.jp/dis_portal/
	気川 京都府河川防災情報 https://chisuibousai.pref.kyoto.jp/					気土 京都府土砂災害警戒情報 https://d-keikai.pref.kyoto.jp/Top.aspx
	気川 土 気象庁ホームページ https://www.jma.go.jp/jma/index.html キキクル https://www.jma.go.jp/bosai/risk/					川ダ 国土交通省 川の防災情報 https://www.river.go.jp/ ダム観測所情報 (日吉ダム)
防災 行政無線	気避 緊急時の避難情報や気象情報、災害情報等の迅速な発信を行います。					

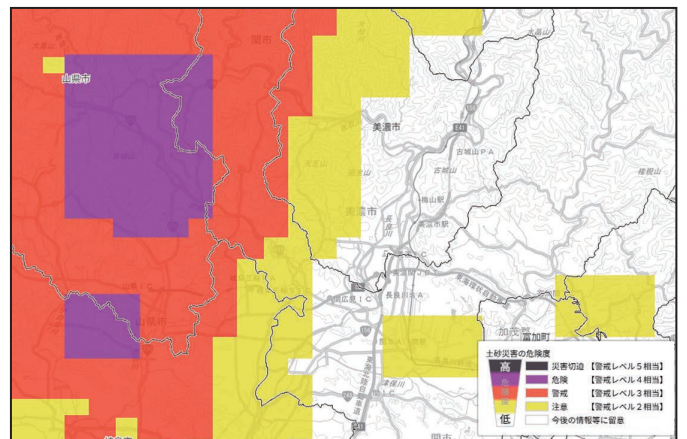
気象庁「キキクル(危険度分布)」を活用する

気象庁では、警報や注意報が発表された際に、実際にどこで危険度が上がっていると予想されているかを一目で認識できる「**キキクル(危険度分布)**」を提供しています。



大雨キキクル

氾濫の危険度と浸水の危険度を重ね合わせたものです。氾濫と浸水それぞれの危険度についても切り替えて表示することができます。



土砂キキクル

大雨による土砂災害の危険度を示したものです。現状の危険度が低い場合でも、周辺の危険度が高まっている場合は災害に備えましょう。

大雨キキクルは、令和8年5月下旬に運用開始予定です。

出典:気象庁

1. 日頃の備え

非常持出品・非常備蓄品

自宅が被災した場合は、日常とは違う場所で避難生活を送ることになります。持って運べるだけの必要最低限のものを非常持出品としてあらかじめ決めておき、災害時にいつでも持ち出せるように準備しておきましょう。また、緊急時を乗り切るための非常備蓄品も日頃から準備しておきましょう。

非常持出品

- 飲料水
- 食料
- 防災用ヘルメット・防災ずきん
- 衣類・下着
- レインウェア
- ひもなしのズック靴
- 懐中電灯(手動充電式が便利)
- 携帯ラジオ(手動充電式が便利)
- 予備電池・携帯充電器
- マッチ・ろうそく
- 救急用品
- 使い捨てカイロ
- ブランケット



- 軍手
- 洗面用具
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- タオル
- ペン・ノート
- 貴重品(現金、通帳、運転免許証など)



感染症対策

- マスク
- 手指消毒用アルコール
- 石けん・ハンドソープ
- ウェットティッシュ
- 体温計



子どもがいる家庭の備え

- ミルク(キューブタイプ)
- 使い捨ての哺乳瓶
- 離乳食
- 携帯カトラリー
- 子ども用の紙オムツ
- お尻ふき
- 携帯用お尻洗浄機
- ネックライト
- 抱っこひも
- 子どもの靴

女性の備え

- 生理用品
- おりものシート
- サニタリーショーツ
- 中身の見えにくいごみ袋
- 防犯ブザー/ホイッスル

高齢者がいる家庭の備え

- 大人用の紙パンツ
- 杖
- 補聴器
- 介護食
- 入れ歯・洗浄剤
- デリケートゾーンの洗浄剤
- 吸水パッド
- 持病の薬
- お薬手帳のコピー

非常備蓄品

普段から食料やトイレットペーパー、ラップなどを少し多めに購入し、古い順に使っていくと自然と備蓄することになります(ローリングストック法)。

- 飲料水
- アルファ化米
- 缶詰
- インスタントラーメン
- レトルト食品
- 卓上コンロ
- ガスボンベ



5段階の警戒レベル

南丹市では、災害時に避難の必要性がある場合に避難情報を発令しています。**警戒レベル4(避難指示)までに、必ず安全な場所への避難を完了させなければなりません。**各レベルの避難情報が発令された際に、どのような状況が差し迫っており、どのような行動をとらなければならないかを下の表から確認しましょう。

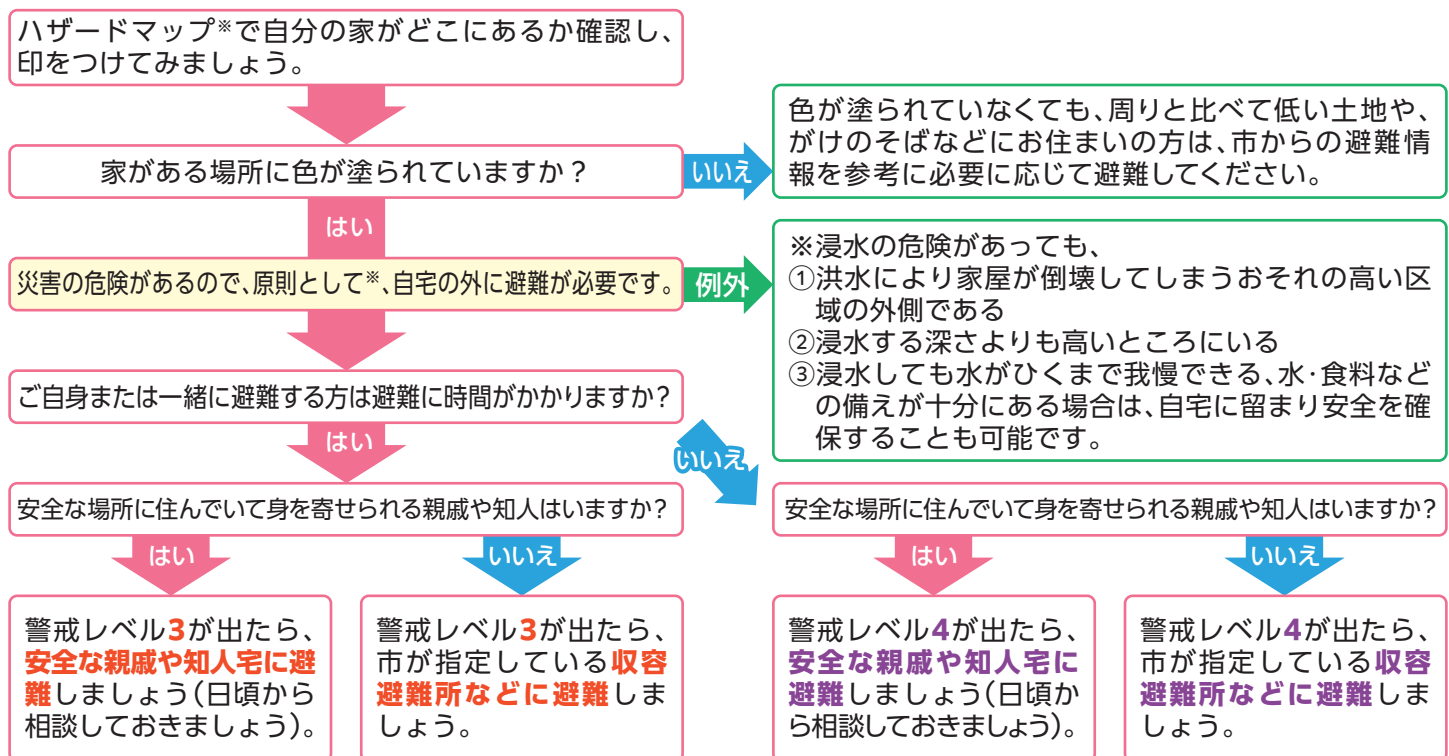
警戒レベル	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3相当	警戒レベル4相当	警戒レベル5相当
市町村が発令する避難情報	—	—	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
警戒レベルに相当する防災気象情報	早期注意情報	河川氾濫 レベル2 氾濫注意報	レベル3 氾濫警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル5 氾濫特別警報
		大雨 レベル2 大雨注意報	レベル3 大雨警報	レベル4 大雨危険警報	レベル5 大雨特別警報
		土砂災害 レベル2 土砂災害注意報	レベル3 土砂災害警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル5 土砂災害特別警報
状況	今後気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化	災害のおそれあり	災害のおそれ高い	災害発生または切迫

警戒レベルに相当する防災気象情報は、令和8年5月下旬に運用開始予定です。

避難行動判定フロー

実際に災害が近づくと、とるべき行動をなかなか決断できずに避難のタイミングを逃してしまうケースが多くありますが、「自らの命は自らが守る」という意識を常に持ち続けなければなりません。ハザードマップを通して自宅がどのような場所にあるのかを把握し、災害発生時に正しい避難方法を選択できるよう、**平時からとるべき行動について必ず確認しておきましょう。**

あなたがとるべき避難行動は？



2. 水害

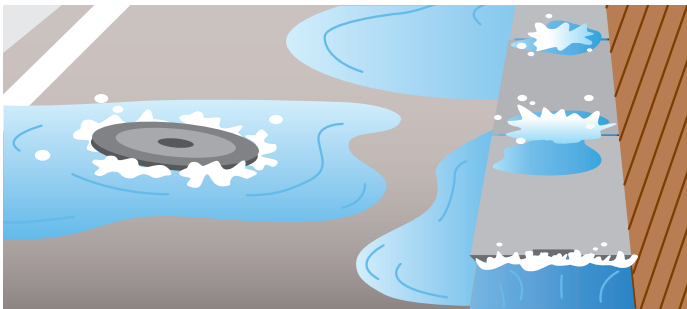
水害を知る

内水氾濫と外水氾濫

水害の種類には、水路や下水道があふれる**内水氾濫**と、河川の氾濫による**外水氾濫(洪水)**があります。それぞれの水害が発生する仕組みや、想定される被害について理解しましょう。

内水氾濫

短期的な大雨により、下水道や水路の排水能力が限界を超えることで、雨水があふれだします。




外水氾濫(洪水)

大雨によって河川を流れる水が大幅に増え、堤防から水があふれたり、堤防が決壊することにより水があふれだします。

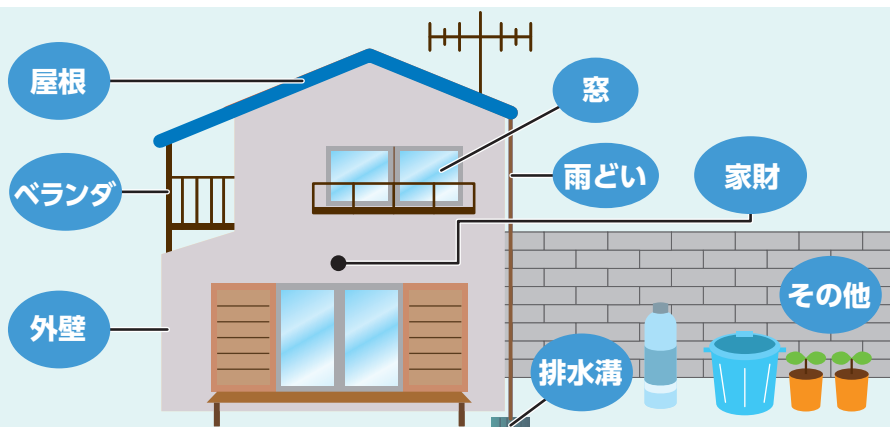


早期立退き避難が必要な区域

家屋が倒壊するような氾濫や河岸の侵食が発生するおそれがある区域、家屋の最上階まで水没するおそれがある区域は、早期の立退き避難が必要です。このような区域では、屋内に留まると命が危険にさらされるおそれがあるため、災害発生時は避難指示等に従って安全な場所に速やかに避難してください。

指定区域の種類		発生する現象と避難行動	
早期の立退き避難が必要な区域	家屋倒壊等氾濫想定区域	 <p>氾濫流</p>	堤防決壊などにより流速のはやい「氾濫流」が発生するおそれのある区域です。木造家屋は倒壊するおそれがあるため、早期の立退き避難が必要です。
		 <p>河岸侵食</p>	河川の激しい流れにより地面が削りとられる「河岸侵食」が発生するおそれがある区域です。地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあるため、早期の立退き避難が必要です。
	家屋が水没するおそれのある区域		最上階も水没するような浸水のおそれがある区域です。屋内に留まることにより命に危険がおよぶおそれがあるため、早期の立退き避難が必要です。

水害に備える



屋根

- アンテナは不安定ではないか。
- トタンがめくれていないか。
- 瓦のひび・割れ・はがれはないか。

ベランダ

- 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険があるものはないか。

外壁

- 壁に亀裂はないか。

窓

- 窓枠のがたつきはないか。
- 雨戸のがたつきはないか。

雨どい

- 雨どいに落ち葉などが詰まっていないか。
- 継ぎ目ははずれや塗装のはがれ、腐りはないか。

排水溝

- 排水溝にごみや土砂が詰まっていないか。

家財

- 貴重品や思い出のものが、すぐに持ち出せるようになっているか。
- 濡れて困るものを、あらかじめ高い場所へ移動しているか。

その他

- 商店などでは看板のぐらつきはないか。
- ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定しているか。
- 庭木には添え木をしているか。
- ブロック塀は崩れそうにないか。
- プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定されているか。

避難のポイント



長靴は水が入って歩きにくく危険です。動きやすい格好で避難しましょう。



足下が見えないことが多いので、よく通る道でも道路の真ん中を慎重に歩きましょう。



道路冠水時は、側溝、水路、マンホール、坂道、ため池などが危険です。



たれ下がった電線は感電することがあるので、触らないようにしましょう。



橋を渡らないようにしましょう。



事前の処置をして、畑や田んぼの見回りは控えましょう。



鉄道の下など路面が低くなっているところ(アンダーパス)は、水がたまるおそれがあるので、車の侵入はやめましょう。

3. 土砂災害

土砂災害を知る

土砂災害のおそれがある区域は京都府によって指定されており、その危険度に応じて「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」に分かれています。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、災害発生前の危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ、生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制や建築物の構造規制などが行われます。

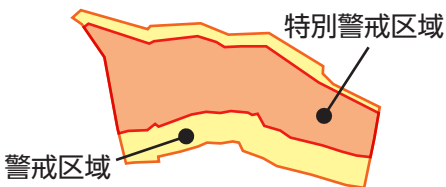
土砂災害の種類



急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

地中にしみこんだ水分が土の中にたまり、雨や地震をきっかけに一気に斜面が崩れ落ちる現象です。

ハザードマップでの表示



前兆現象

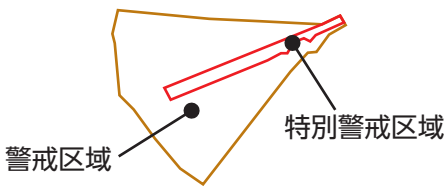
- ・がけにひび割れが入り、水が湧き出てくる
- ・木が傾いたり倒れたりする
- ・小石がバラバラと落ちる



土石流

集中豪雨などによって、山や川の土と石が一気に下流に向けて押し流される現象です。

ハザードマップでの表示



前兆現象

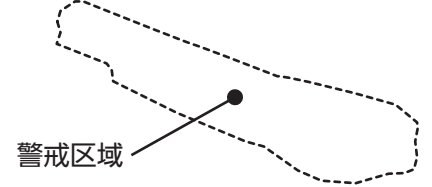
- ・異常な山鳴り、地鳴りがする
- ・雨が降り続けているのに川の水位が急に下がる
- ・川の水が急激に濁る



地すべり

斜面の一部分、あるいは全部が、地下水と重力の影響によってゆっくりと斜面を移動する現象です。

ハザードマップでの表示



前兆現象

- ・地面や道路にひび割れが入る
- ・木の騒ぐ音や裂ける音がする
- ・川や池が濁る
- ・斜面から水が噴出する

避難のポイント

屋外に避難する場合

避難する際は、土砂災害警戒区域等(イエローゾーン・レッドゾーン)をなるべく通らないようにしましょう。ハザードマップで区域を確認してください。

やむをえず屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。



雨がやんだ後も注意

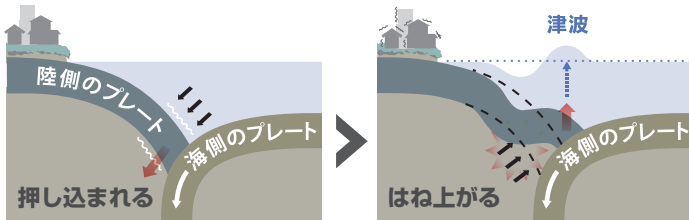
これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも土砂災害警報が発表されている間は、土砂災害が発生するおそれがあるので警戒しましょう。

4. 地震

地震を知る

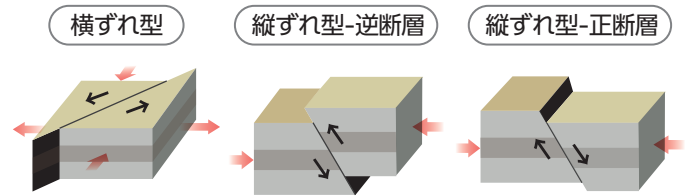
日本は、4つのプレートが周囲を取り囲む地震大国です。列島周辺は、阪神・淡路大震災（1995年）以降震度7を観測する地震がたびたび発生しており、日頃からの警戒と備えが重要です。

海溝（プレート）型地震



海側のプレートが陸側のプレートの下に潜り込むことで境界にエネルギーがたまり、限界に達したときにプレートが元に戻ろうとはね上がり、地震が起こります。

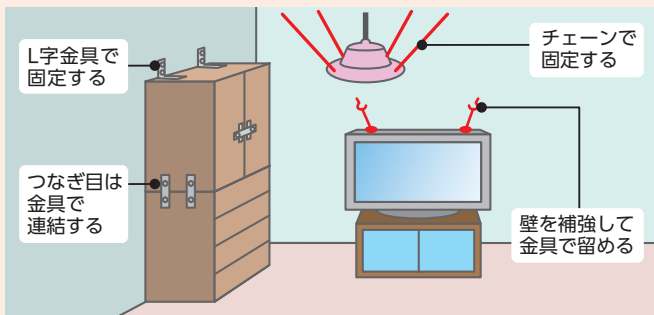
内陸直下型地震



地下の岩盤に押し合う力や引っ張り合う力が働くことでエネルギーがたまり、限界に達したときに活断層面を境にずれ動き、地震が起こります。

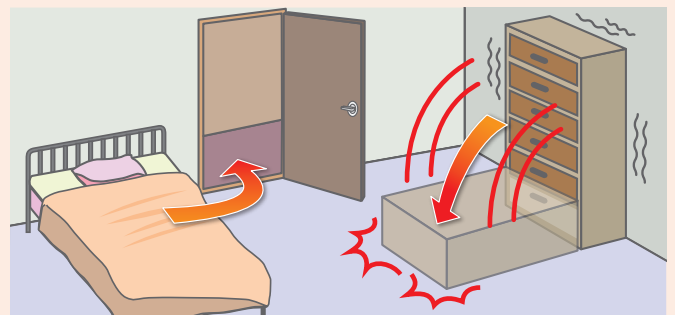
地震に備える

家具が倒れないように固定しましょう



家具やテレビなどを固定し、転倒や落下を防止する。

家具の配置に注意しましょう



寝室には倒れそうな家具を置かない。扉をふさぐような配置をしない。

避難のポイント

初動

避難行動

避難生活

1分

揺れが収まったあと

数時間

数日～

●まず頭を守る。



●火の始末をする。



●ドア・窓を開けて逃げ道を確認する。



●ブレーカーを落とす。ガスの元栓を閉める。



●建物の外に出て安全を確認する。



●家族の安全を確認後、近隣の安否・出火の有無などを確認する。



●自宅が安全であれば在宅避難する。

●自宅が安全でない場合や、近くで火災が発生している場合は、非常持出袋をもって安全な避難先等の広いスペースへ避難する。

●可能であれば親戚・知人宅に分散避難する。

●「災害用伝言ダイヤル」やSNSで無事を知らせる。

●自宅に戻れない場合は、開設された避難所へ避難する。



●避難所では集団生活のルールを守る。

●在宅避難でも備蓄が不足する場合は避難所で物資を受け取る。

地震発生！緊急地震速報

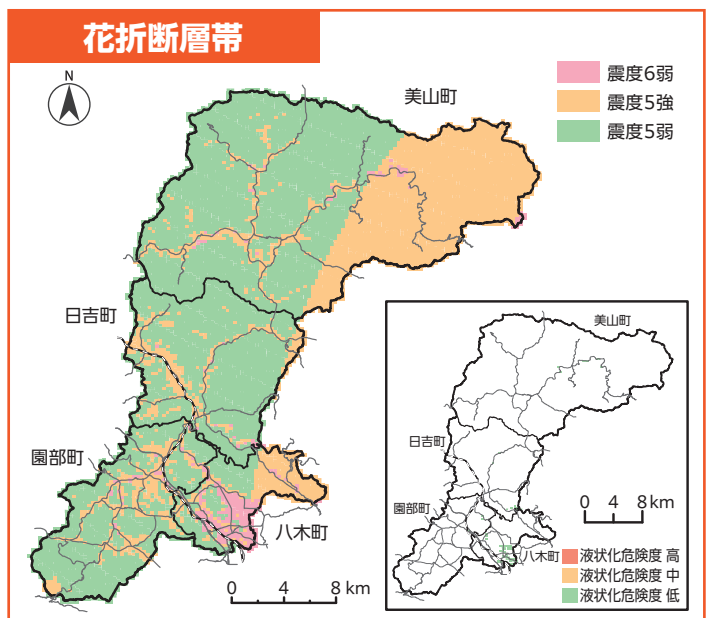
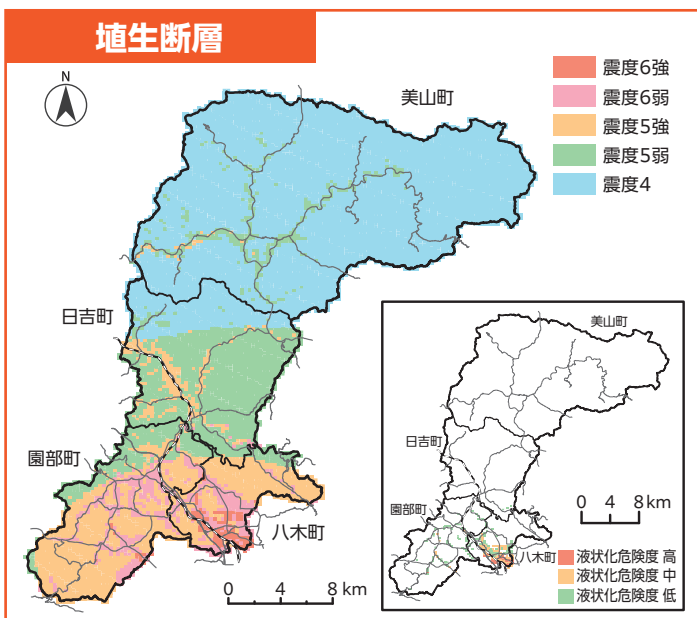
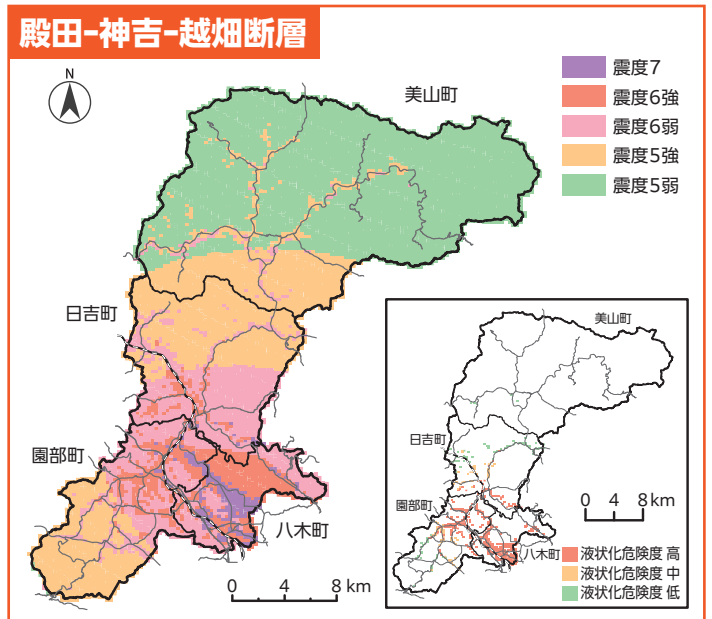
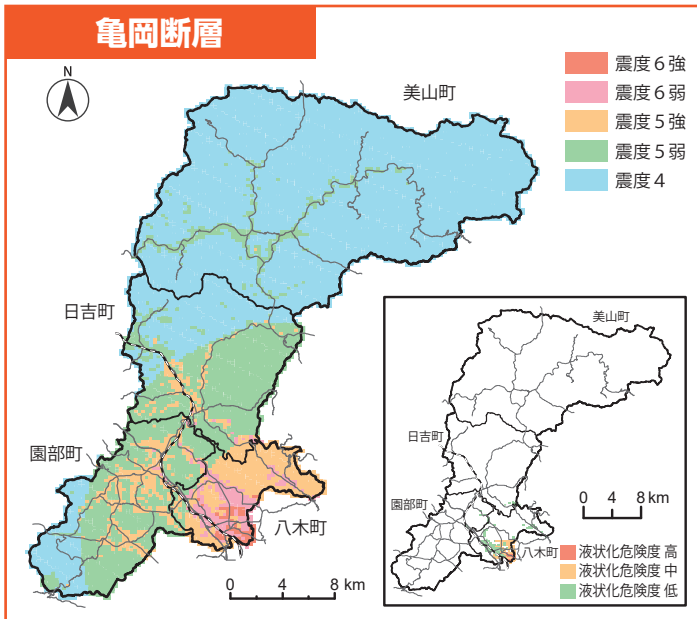
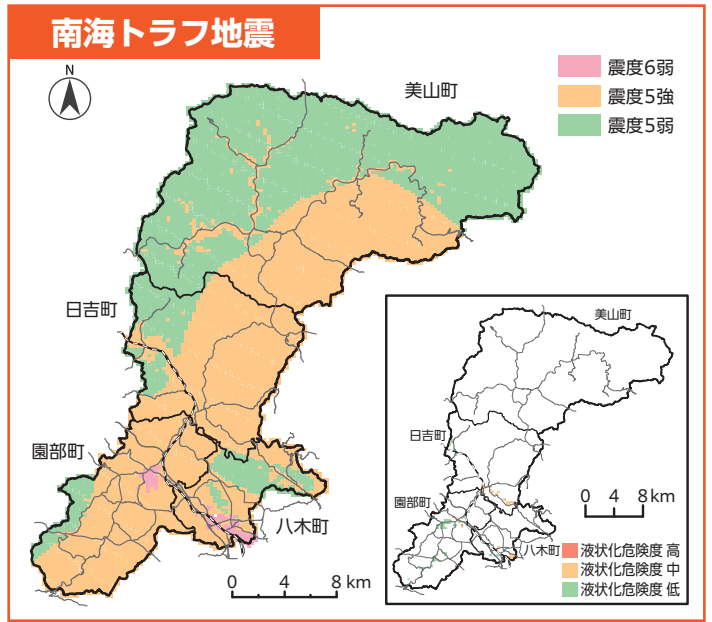
4. 地震

想定震度・液状化危険度

このページの地図は、南丹市に大きな影響を及ぼす地震の想定震度と液状化危険度を示したものです。各地震で想定される被害は下の表の通りです。

断層名	最大予測震度	人的被害				建物被害			
		死者数(人)	負傷者数(人)	うち重傷者数(人)	要救助者数(人)	短期避難者数(人)	全壊(棟)	半壊・一部半壊(棟)	焼失建物(棟)
南海トラフ	6弱	—	60	—	—	—	50	—	—
亀岡断層	6強	40	380	40	200	5,390	1,610	3,220	180
殿田-神吉-越畑断層	7	91	494	141	682	6,253	5,925	4,939	79
埴生断層	6強	16	136	20	100	1,131	862	2,476	10
花折断層帯	6弱	13	260	14	7	172	179	1,464	—

出典 南海トラフ:内閣府のデータを基にした京都府被害想定(2014)
 亀岡断層:京都府地震被害想定調査結果(2008)
 上記以外:京都府地震被害想定調査結果(2024及び2025)



5. 避難所・避難地

南丹市の避難所・避難地の種類

一時避難所【区や自治会が開設】

局地的な災害が発生した場合の一時的避難または自主避難をする屋内の避難施設です。

収容避難所【市が開設】

大規模な災害が発生した場合に、南丹市が必要に応じて開設する屋内の避難施設です。

臨時避難所【市が開設】

大規模な災害が発生した場合に、指定された収容避難所だけでは収容が困難な場合に開設する屋内の避難施設です。

一時避難地

地震や火災が発生したときに、一時的に避難ができる公園やグラウンドなどの屋外施設です。

広域避難地

大地震などで発生する市街地の大火に対して、広域避難の最終目的地となる都市防災施設です。

自主避難所【市が開設】

大雨や台風の接近により、自宅での待機に不安を持つ市民の方から要望がある場合に、一時的に開設する屋内の避難施設です。

要配慮者利用施設

要配慮者利用施設とは、主として防災上の配慮を必要とする方々が利用する施設で、社会福祉施設、学校、医療施設などが該当します。

南丹市の避難所・避難地と、浸水想定区域・土砂災害警戒区域内に位置する要配慮者利用施設は、右の二次元コードから確認することができます。施設の場所は更新される可能性がありますので、必ず最新の情報を確認するようにしてください。

避難所・避難先



要配慮者利用施設



コラム：自助・共助・公助

災害の被害を最小限に食い止めるためには、「自助・共助・公助」を組み合わせることが重要です。このうち、私たち自身にできるのは「自助」と「共助」です。実際に阪神・淡路大震災などの大きな災害では、がれきの中から自力で助かったり、家族や隣人に救助されたりした人が大勢いました。大規模災害の発生下においては、行政機関が果たすことのできる援助には限界があることがわかっています。いざというときは自分の身を自分で守ると同時に、地域全体の助け合いによる防災活動を展開することが大切です。

自助「自分の身は自分で守る」

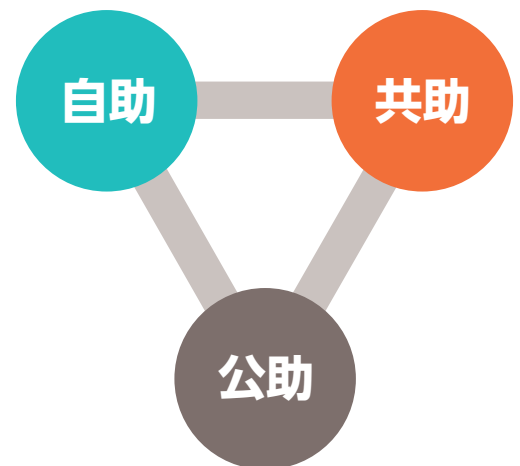
食料の備蓄や防災知識の習得など、普段から災害に対する意識を高め、緊急時のための準備をしておきましょう。

共助「自分たちの地域は自分たちで守る」

自主防災組織の結成や防災訓練への参加など、災害から地域を守るための相互協力体制の推進を図りましょう。

公助「行政や防災関係機関による救助・援助など」

市役所、消防署、警察署、自衛隊などの機関が、救助活動、避難所の開設、救援物資の支給などの被災者への支援を行います。



わが家の避難方針

災害時に備え、下線部分に必要な事項を記入し、コピーして家族で共有しましょう。

水害・土砂災害	
台風が接近したり、大雨の予報が発表されたりしたら、テレビ・ラジオ・インターネット等で情報収集をします。	
水害・土砂災害に関する情報を収集し、危険を感じたり、避難情報を入手したりしたらわが家は、	
<input type="checkbox"/>	自宅に待機し、状況に応じて垂直避難します。 (※むやみに外出せず、情報収集に努める)
<input type="checkbox"/>	へ水平避難します。 ~~~~~ (収容避難所等)
水平避難の途中で危険を感じたら、	
	へ緊急的に垂直避難します。 ~~~~~
家が被災し、生活が困難な場合は、	
	へ避難します。 ~~~~~ (収容避難所等)

地震	
緊急地震速報を見聞きしたり、地震の揺れを感じたりしたら、自分の身を守る行動をとります。	
地震の被害があり、命の危険がある場合は、	
	へ水平避難します。 ~~~~~ (一時避難地等)
水平避難の途中で危険を感じたら、	
	へ緊急的に避難します。 ~~~~~
家が被災し、生活が困難な場合は、	
	へ避難します。 ~~~~~ (収容避難所等)

わが家の緊急連絡先

名前	緊急連絡先

名前	緊急連絡先

災害用伝言ダイヤル(171) 災害時にNTTから提供される「声の伝言板」です。

伝言の録音	→ 171 → 1 → □□□□-□□-□□□□ →	伝言を入れる(聞く) 30秒以内
	ガイダンス(説明)がながれます。	
伝言の再生	→ 171 → 2 → □□□□-□□-□□□□ →	30秒以内
	被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュ。	

災害用伝言板(web171)



インターネットでも登録・確認できます。
<https://www.web171.jp> にアクセスしてください。

災害用伝言板 (web171)

🔍 検索



南丹市

〒622-8651
 京都府南丹市園部町小桜町 47 番地
 TEL:0771-68-0001 FAX:0771-63-0653
<https://www.city.nantan.kyoto.jp/www/>

作成：2026年3月

災害用伝言ダイヤル(171)体験利用提供日

- ・毎月1日、15日 0:00 ~ 24:00
- ・正月三が日(1月1日 0:00 ~ 1月3日 24:00)
- ・防災週間(8月30日 9:00 ~ 9月5日 17:00)
- ・防災とボランティア週間(1月15日 9:00 ~ 1月21日 17:00)